

名賀医師会館

在宅医療連携拠点事業の取り組み

社団法人 名賀医師会
名張市在宅医療支援センター

名張市在宅医療支援センター
(名賀医師会)

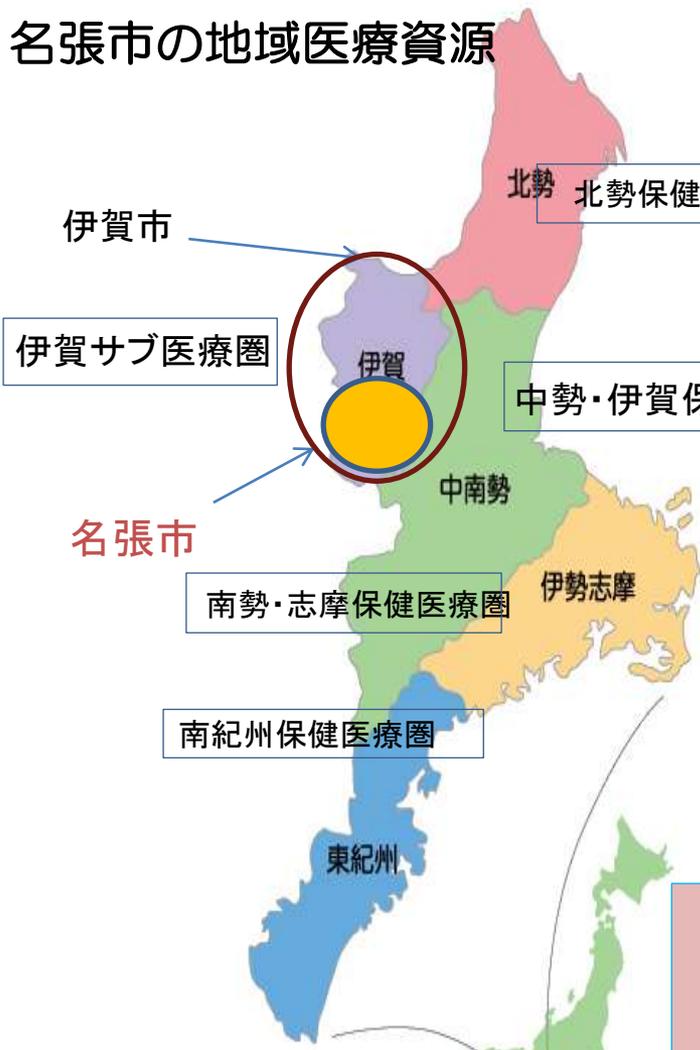
名張市の地域医療資源

三重県人口 1,854,724人 (H22年10月1日人口)

医師数

	医師数	人口10万対
国	280,431	219.0
県	3,525	190.1
(名張)	86	107.1

平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省)



名張市立病院医師数(中核病院)

常勤医師 (科目別)	24人
内科	9人
外科	3人
脳神経外科	3人
整形外科	2人
小児科	5人
眼科	1人
麻酔医	2人

平成25年1月1日現在

名張市の医療施設 (23年度)

- ・中核病院1か所(200床)
(名張市立病院)
- ・一般診療所・病院 54か所
- ・療養支援病院 1か所
- ・療養支援診療所 4か所

- ・歯科診療所 34か所
- ・調剤薬局 23か所
- ・訪問看護ステーション 6か所 (2か所 24時間対応)
(訪問看護師(非常勤・パート含) 41名)
- ・居宅介護支援事業所 20か所
(ケアマネージャー 58名)
- ・地域包括支援センター 1か所(行政)
(まちの保健室15か所(1か所に2名 介護支援専門員・介護福祉士・看護師・社会福祉士など))
- ・在宅医療支援センター 1か所(医師会委託)
(社会福祉士・保健師 各1名)

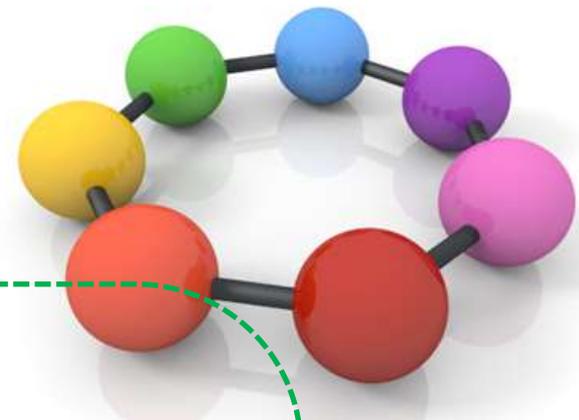


名張市の高齢化の実態と推移

平成25年2月1日現在人口
 82,088人
 65歳以上 20,866人 25.4%

		平成22年 2010年	平成27年 2015年	平成32年 2020年
全国	総人口(千人)	127,768	125,430	122,735
	高齢化率(%)	23.1	26.9	30.5
名張市	総人口(人)	80,500	78,600	76,000
	高齢化率(%)	22.5	28.3	32.8

名張市の在宅医療を進めていくなかでの課題



- 1. 一般医療機関の積極的な在宅医療への参加**
 - * 積極的な在宅医療への医師の参加が難しい
 - * 高齢者の増加により、外来患者が増加、かかりつけ医は多忙であり、在宅医療の重要性を自覚しにくい。医師も高齢化。
- 2. 24時間対応の在宅医療への支援体制の整備**
 - * 病院の24時間バックアップ体制の確保が難しい
 - * 市内の医師同士の連携も困難
- 3. 医療・看護・介護・福祉の連携**
 - * 職種間の隔たりがありお互いの業務内容の理解不足
 - * 多職種が一同に集まり、合同カンファレンスを行うなど多職種連携システムが必要
- 4. 市民に対する在宅医療の普及啓発**
 - * 在宅医療や訪問看護・介護サービスなどの役割や内容を知らない市民が多い

平成24年度 名張市在宅医療支援センターの取組み

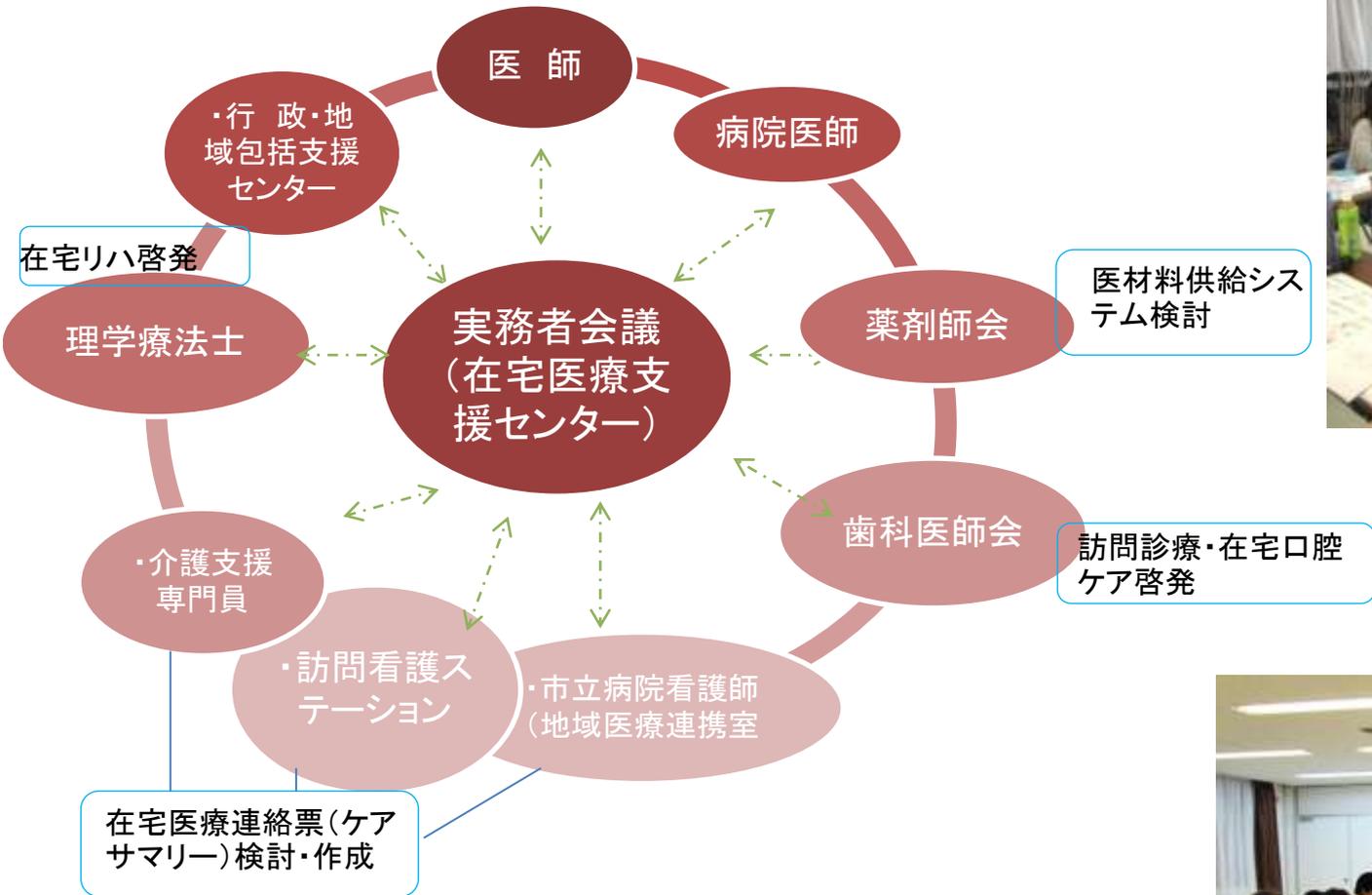
(在宅医療連携拠点事業所)

- 1 在宅医療支援関係機関のネットワークづくり
 - ・ 名張市在宅支援実務者会議の開催
 - ・ 在宅医療連絡票（ケアサマリー）の検討、活用
 - ・ 医材料供給システム構築
 - ・ 医療・介護サービスの調整
- 2 在宅医療サービスの連携・調整
 - ・ 病診連携の推進（24時間のバックアップ体制の整備）
- 3 在宅医療に従事する関係者の連携
 - ・ 積極的な地域での従事者研修会
 - ・ 介護支援専門員研修会
 - ・ 多職種合同カンファレンス
- 4 市民への普及・啓発
 - ・ 講演会・フォーラム開催
 - ・ 医療機関・介護事業所マップ作成
 - ・ 地域の学習会,サロン等への参加
 - ・ ホームページの作成

在宅医療支援センターパンフレット



在宅医療支援関係機関のネットワークづくり



平均2か月に1回会議開催
委員は各会代表者

在宅支援実務者会議



多職種連携

第1回 多職種合同カンファレンス

「名張の在宅医療を推進するには？」

○日 時： 平成24年12月1日（土）午後1時30分～3時30分

○場 所： 名張市保健センター 2階 大会議室

☆☆

プログラム

○ 13:30 ~ 14:20

☆ 名賀医師会 失音会長挨拶

☆ 在宅医療推進の取り組みについて おおふら医院 大淵信幸先生

☆ 自己紹介：「得になる話、他とはちがう施設のいいところなど」

○ 14:20 ~ 14:35

☆ 休憩 & 名刺交換タイム

○ 14:35 ~ 15:30

☆ 多職種グループワーク「名張の在宅医療」

☆ 各グループの進行役からひとこと

アンケート結果

【連携】

- ・ 医師との連携が難しい
- ・ 退院時カンファレンスの開催を希望
- ・ 多職種間の連携不足

【医療】

- ・ 往診医師が少ない
- ・ 開業医からの情報提供が少ない
- ・ 名張市立病院に往診専門部門を作してほしい

【緊急体制】

- ・ 24時間対応の確立
- ・ 緊急時、主治医の協力が必要
- ・ 緊急時の受け入れ先が少ない

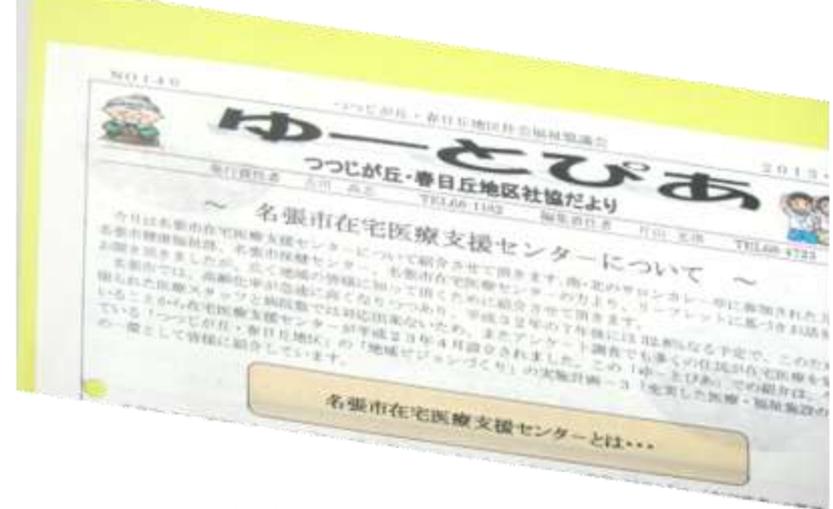
【看護・介護】

- ・ 福祉サービスの周知不足
- ・ 訪問看護師・その他関係者のマンパワー不足
- ・ 薬剤師による服薬指導



啓発活動

高齢者サロンにて啓発



健康教室で啓発



在宅医療をすすめるフォーラム

市民向け
フォーラム

地域で支え合い安心して暮らせる
在宅医療をめざして



日時 平成24年12月24日(月・振替休日)
13:00 ~ 15:30 (開場12時30分~)
会場 名張産業振興センター(アスパア)

特別講演 NPO東濃成年後見センター理事長 渡辺 哲雄
「地域で老いるために ~地域から智域へ~」
基調講演 名賀医師会会長 矢倉 政則 ~地域医療について~

*在宅医療支援センター相談事業（主なもの）

*相談内容例

- 退院時に今までの主治医が在宅診療をしてくれない！在宅医探して！
- かかりつけ医がない、退院したら往診してほしい

- 歯が痛い。寝たきりなので家に来て歯を見てほしい
- 病院で機能訓練を受け家に帰ってきたが、家ではなかなかリハビリすることが難しいので、家で受けたいがどうすればいいの？



在宅主治医依頼	45件
歯科医紹介	6件
訪問リハビリ紹介	6件
他科診療紹介	12件
面接相談	66件
電話相談	160件

平成25年2月末

市民やケアマネジャー等が在宅療養時に医療関係機関がなく困ったときの橋渡し



能楽発祥の地
観阿弥像



市の鳥 うぐいす

ご静聴有難うございました